

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【233】
2. 日 時：令和4年7月20日 16時00分～17時08分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、谷口技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他7名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他6名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	規制庁のハツリです。
0:00:08	ただいまから、島根 2 号機設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:14	本日の議題は、
0:00:16	地盤の支持性能のうち、解析用物性値になりますがよろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:23	はい、中国電力の李です同じ認識でございます。
0:00:28	規制庁の羽鳥です。それではまず、本日の説明のやり方について説明をお願いしますどうぞ。
0:00:36	はい。中国電力のユリです。本日は前回のヒアリングということで、6 月 17 日のヒアリングでいただきました指摘事項、こちらを踏まえました回答がですね、
0:00:48	既卒停止の箇所以外概ね取りまとまっておりますので、こちらの回答を先に一文井藤ということで、ご説明ご審議いただきました後、
0:00:59	改良地盤 4 と 6、こちらが通じということで、今までご説明できてなかったんですけども、
0:01:05	こちらも試験結果がありまして、その他の改良地盤と同様の整理方法です。解析用物性値整理しましたので、こちらをそのあと新規事項ということでご説明させていただければと思っております。以上です。
0:01:19	規制庁の服部です。はい、わかりました。それではまず資料の確認をお願いしますどうぞ。
0:01:29	中国電力の今村です。それでは、資料の確認からさせていただきます。
0:01:34	ナンバー1 資料、資料番号N-S II 他 056 階 06、資料名称、島根原子力発電所第 2 号機指摘事項に対する回答整理表(1)番の申請の、
0:01:47	続きましてナンバーツ、資料番号N-S。
0:01:51	. 2-001-03、資料名称。
0:01:56	6-2-1-3、地盤の支持性能に関わる基本方針。
0:02:02	続きましてナンバー3。
0:02:05	資料番号N-Sず、添付 2、00103、括弧日。
0:02:10	資料名称、先行審査プラントの記載との比較表 6-2-1-3、地盤の支持性能に係る基本方針。
0:02:19	続きまして、ナンバー4、資料番号N-S歩 02301 回 08、資料名称、地盤の支持性能について、物性値、
0:02:29	以上の 4 資料になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:33	資料はすべてそろっておりますでしょうか。
0:02:36	規制庁の服部です。はい資料はそろっていますが少し確認になります が、この添付資料というのは本日使う予定はありますでしょうかどうぞ。
0:02:48	本日の説明では、ナンバー1の資料と、先ほど申しました、ナンバー4 の添付資料を、
0:02:55	添付資料の二つについては今回の説明には用いません。
0:03:00	規制庁のハツリですそれではとりあえず不安をつけていただくとして、
0:03:06	N-S新野他の05、
0:03:11	6の会の06を一番で、
0:03:15	NSIV02301回08を2番としてとりあえずよろしいでしょうかどうぞ。
0:03:22	中国電力の今村です。承知いたしました。
0:03:27	規制庁のハツリですはいわかりましたではそのように付番して説明を お願いします。
0:03:31	では説明を始めてくださいどうぞ。
0:03:34	はい。
0:03:35	中国電力の今村です。
0:03:37	前回、6月11日のヒアリングのコメントに対する対応について一つ、ま ずはご説明させていただきます。まず、資料番号1の6ページを、
0:03:48	ご参照ください。
0:03:55	資料番号1-6ページに、左肩のナンバー40番。
0:04:00	が今回最初にせえコメントの内容としましては、名簿と資料の物性値に ついて、試験数とばらつきの考え方を説明することと、コメントに ついて今回ご回答させていただきます。
0:04:14	資料番号2の286ページをご参照ください。
0:04:26	資料の2-286ページには、メモの資料の事前のばらつきとしまして、 表の1-4に変動係数が3.6%になっておりまして、
0:04:36	D級岩盤や旧表土に比べてばらつきが小さいことを説明するというこ とで、次ページの287ページをご参照いただきますと、
0:04:46	ばらつきが小さい理由として、
0:04:50	現地で締め固めて施工されていることを説明させていただきますが、そ のことについてより、
0:04:56	どういう管理がされていたかということに記載を充実化することといたし まして、黄色のハッチングで示しております箇所を記載を充実させてお ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:05	記載の充実化としましては、現場施工においてはまず現場転圧試験を実施しまして、低圧回数を2回から8回で変えた場合の現場乾燥密度を求めました。
0:05:15	その結果、減圧回数が多くなるほど乾燥密度が増加する傾向が認められるものの、6回電圧異常では、乾燥水の増加傾向が小さくなることから、
0:05:25	所定の乾燥密度替えられる転圧回数として、6回に決定し、現地施工を実施したことを追記しております。
0:05:33	また、品質管理におきましては、現場密度試験を実施しておりまして、所定の乾燥密度、1.95グラムパー立法センチメートルを上回ることを確認しております。
0:05:45	40に関する回答は以上になります。
0:05:48	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いします。
0:05:55	規制庁のハツリですはい。特にないようですのでこれは了としたいと思います。次お願いしますどうぞ。
0:06:04	今村です。続きまして、資料の1の
0:06:09	9ページ目をご参照ください。
0:06:14	9ページ目に、ナンバー86番のコメントについての回答させていただきます。
0:06:20	No.86のコメント内容につきましては、試験位置とその位置での試験内容、数量について明確にすることとのコメントを踏まえ、今回新たに試験内容数量について明確化するように、記載を修正しております。
0:06:34	代表的に説明するものをお示ししますのは、資料の2の162ページをちょっとご参照ください。
0:06:50	162ページ目には、今回初めてご説明させていただきます改良地盤、4についての試験数、試験位置と、試験実施項目及び数量を示した資料。
0:07:02	を用意しております。この中で、
0:07:05	下の表4-2-1-3、各試料採取位置における試験実施項目及び数量ということで、上手に示しております。
0:07:16	平面図に示し示しております。現位置試験、及び四肢、試料採取位置、
0:07:22	から試料を採取して、どのような試験を実施したかを表に表してお示しております。
0:07:28	また、続いて163ページ目をご参照ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:34	163 ページの上の表、表 4-2-1-4、3 軸圧縮試験及び繰り返し 3 軸試験の試験の最終位置ということで、
0:07:45	室内試験を実施した箇所の進度を細かく記載するように、記載の適正化を図っております。
0:07:51	同じように、改良地盤の後、
0:07:54	改良地盤の 6 等、すでに改良地盤の 6 は今回説明されていますが、同じように記載を細部にこだわって修正を行っております。
0:08:08	コメントNo.86 についての回答は以上になります。
0:08:14	規制庁の服部です。はい。
0:08:16	はい試験の位置と、その数量及びその試験の内容については確認をしましたので
0:08:24	私としては了としたいと思います。他にあればお願いします。
0:08:28	よろしいでしょうか。ではただいまのコメントは了とします。次お願いしますどうぞ。
0:08:33	はい。続きまして、資料の 1 の 10 ページ目をご参照ください。
0:08:39	資料 1 の 10 ページ目のNo.97、
0:08:43	97 のコメントといたしまして、玄市野氏現地試験の試験の位置について、1 選定理由を追記して説明することのコメントを踏まえ、今回、回答させていただきます。
0:08:56	こちらについても先ほどご説明しました、資料の 2 の 162 ページをご参照ください。
0:09:09	162 ページ目には、前回、すでに議(3)ということで、現地試験及び試料採取位置で明示しておりますが、すでに前回において、既設構造物の配置等を踏まえ、
0:09:22	概ね均等になるよう配置すると記載させていただいておりますが、続いて、事項の 163 ページ目をご参照ください。
0:09:33	黄色ハッチで示しておりますが、試験を実施するあたり、試験を採取するにあたっては、砂れき層及び改良体を含む位置を選定したというふうに、
0:09:43	試験を実施する箇所を細かく記載するように明記しております。同じような修正対応を改良地盤の後、⑥等に細かく記載を追記するように修正しております。
0:09:54	コメント回答 90 何に対するコメント回答は以上になります。
0:09:59	規制庁の服部です。それでは確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:10:08	規制庁の服部です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:11	よろしいでしょうか。
0:10:12	はい。特にないようですのでこのコメントについては了としたいと思います。次お願いしますどうぞ。
0:10:18	はい。
0:10:19	続きまして、資料1の11ページ目。
0:10:22	のナンバー113。
0:10:25	のコメントに対する回答をさせていただきます。
0:10:28	ナンバー113、改良地盤のひずみ依存特性について、試験値を踏まえて保守的であることを明確になるように説明すること。
0:10:36	ということで、資料の2の、188ページ目をご参照ください。
0:10:49	資料の2-188ページについては、透水性のカッコの座を目的とした改良地盤5についての動的変形特性。
0:10:59	の試験値と目標物性値の磁場 $G_0\gamma$ の関係を示した増、以前お示しておりましたが、
0:11:05	こちらについては試験値がやや、
0:11:08	目標物性値による時は G_0 我慢を下回っていた。
0:11:12	ものですが、ほぼ同等と評価させていただきましたが、その説明を補強するために、新たにGガンマ曲線を加えております。
0:11:23	そその説明文を新たに黄色で示しております。
0:11:27	試験結果は目標物性値と同等であります。
0:11:31	若干目標物性値を下回っていることから、 $G\gamma$ 関係を確認しております。その結果を、ページ189の図の4-3-3-8に示しております。
0:11:44	こちらの図を確認していただきますと、試験結果目標物性値を上回っておりまして、前日の動線弾性係数 GMA と合わせて、保守、保守的な設定となっていることを確認した。
0:11:57	というふうに記載させていただきます。
0:12:00	こちらの説明に対する、
0:12:02	コメント回答は以上になります。
0:12:05	規制庁の服部ですはい。わかりました。少し時、念のために事実確認をさせていただきますけれども、例えば、10のマイナス5乗のひずみのところは、
0:12:16	試験値も、解析値文字馬路0としては1.0ぐらいということでほぼ同じということですが、 G を見たときわあ、
0:12:25	と試験値というのは187ページを見ると、
0:12:29	V_s が900は38。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:32	それに比べて目標物性値はかなり 430 と低く抑えているということで、かなり安全側というか保守的に保守的すぎるぐらいに設定していると。
0:12:43	さらに動的せん断係数これどうVS事情で出してるんですかね、ちょっとこの出し方についてちょっと確認したいんですけど。
0:12:53	よろしいでしょうかどうぞ。
0:12:56	はい中国電力のユリです。今羽鳥さんおっしゃった通りのご理解で、G0 につきましては龔VS事情で江藤算出をさせていただきます。以上です。
0:13:08	規制庁の服部ですそうするとVsが半分になっ
0:13:11	てるということは同点須藤せん断弾性係数は事情がついているので、さらに小さくなってるとということで、極めて安全側というか保守側になってるとということで、これだけ保守側になってれば、多少その次バッチ 0 のところの、
0:13:25	値が少し下回っていても、実際のG、Gとしては、せん断弾性係数としてはかなり安全側の評価になってるとということで理解をしましたがよろしいでしょうかどうぞ。
0:13:38	はい。中部電力入りです。おっしゃる通りでございます。以上です。
0:13:43	規制庁のハツリですはいわかりました。他になければ了としたいと思いますますがよろしいでしょうか。
0:13:49	はい、ではこの点についてはこのコメントについては了といたします。次お願いしますどうぞ。
0:13:55	はい。
0:13:56	続きまして、中国電力の岩村です。続きまして、資料 1 の 11 ページ目、ご参照ください。
0:14:04	11 ページ目のナンバー114 のコメント、えさ礫層のφの設定について、棒廃棄の安全機能への影響の観点から、その妥当性を説明することについての回答をさせていただきます。
0:14:17	資料 2 の 114 ページ目をご参照ください。
0:14:28	資料 2 の 114 ページ目には、前回お示しお示ししております通り、港湾、港湾技研の資料から、相対密度との関係から、砂れき層のφについては、38.74、
0:14:41	ご説明をさせていただきましたが、この妥当性を確認するために、新たに、次、次のページになりますが 115 ページ目をご参照ください。
0:14:52	新たに文献としまして、以前、土石流の影響評価でもご説明させていただいている道路土工盛り土工指針の文献を参照いたしまして、れきやれきまじり砂ということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:04	表に示し、赤枠で示しておりますが、このれきまじり砂等が、せん断抵抗角が 40° から 35° の範囲。
0:15:14	設定されていることを踏まえまして、38 点。
0:15:18	考案技研で、38.74 が、この 35 から 40 分以内に収まっていることを確認しております、その妥当性を、も同動向の資料から確認しております。
0:15:31	また、
0:15:33	黄色のハッチで示しておりますが、内部摩擦角 ϕ を 35 度、及び 40 度とした場合のひずみ依存特性 G バーゼル γ はえず、
0:15:43	図の 2 の、
0:15:44	11 の通りであり、解析用物性値と設定した 38.74 と大きな差がないため、耐震評価への影響は軽微であると考えられますが、
0:15:54	内部摩擦角を $\phi 35$ とした場合、
0:15:57	の影響検討を今後実施していきたいと思えます。こちらについての回答は以上になります。
0:16:09	規制庁の江崎です。事実確認ですけども今後という言葉が今ありましたんで、基本的に今後検討されたらまた、
0:16:17	ここの場所にまたその結果は記載されるっていう理解でよろしいでしょうか。
0:16:30	中国電力清水です。この図書というよりは計算書の中の補足資料みたいなので、それで問題なのは、はい。今この実施するっていう言い方で、
0:16:42	これ一設置許可と同じような設計しますっていう方針を言ってるだけで、そうすると、
0:16:48	をしましたということで、それで、その図書をここに書かなくてもいいんですけど、ひもづけする必要が出てくると思えます。
0:16:58	中国電力シミズそこは確実にですな紐づけさせつつ忘れずに対応させていただきたいと思えます以上です。規制庁の矢崎です。多分ですなその結果が出てきた段階で、
0:17:10	実施するという語尾のところはちょっと考えていただいて、
0:17:13	適正化してもらえばいいです。実際の内容に関しては一応、問題ないと思ってますんで、コメントだ車両ということで、実際にその検討が終わった段階でまた、
0:17:25	ご報告していただければということで、よろしくお願いします。
0:17:29	中国電力清水です。承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:33	規制庁のハツリです。他あれば、よろしいでしょうか。
0:17:38	では次お願いしますどうぞ。
0:17:41	中国電力の今村です。
0:17:43	以上で前回までのヒアリングで、本日回答コメントに対する回答ん
0:17:48	については以上になります。続きまして、今回の資料を作成するに当たりまして、記載の適正化を行っておりますが、その一覧を資料 1-12 から 13 ページに記載させていただいております。
0:18:02	その中で、
0:18:04	特別独立としてご説明させていただきたい箇所が、資料 1 の 12 ページ目のナンバー102をご参照ください。
0:18:15	今回、改良地盤 4、及び 6 の試験結果を踏まえまして、地盤の支持性能の参考資料 13 の修正に伴いまして、補説本編の
0:18:25	記載の適正化を、前回の
0:18:29	ヒアリングコメントで、全体の整合化を図ることを、
0:18:33	踏まえまして資料確認した結果、本編との整合性を、
0:18:38	を実施しております。
0:18:40	資料の 2 の 34 ページ目をご参照ください。
0:18:52	資料の 2 の 34 ページの下の表なんですけど、表の 4-2-9、黄色発注させていただいておりますが、設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値の設定根拠といたしまして、
0:19:05	今回、改良地盤、4 から 6 までを新たに更新させていただいております。また前回の資料には加えられてなかつおりました。取水槽の改良地盤の 7 についても、
0:19:17	この表について追加しております。
0:19:20	また、戻るんですが、20、30 以上。
0:19:25	資料 2 の 31 ページ目をご参照ください。
0:19:32	31 ページ目の、下の表、黄色ハッチさせていただいておりますが表の 2-4-2-4-1(1)設置変更許可申請書に記載されていない解析を物性値カッコ有効応力解析。
0:19:44	いう中で、今回ご説明させていただく、改良地盤、4、薬液注入、
0:19:50	についてなんですけど、この中で、今日、下の
0:19:54	2 段目の強度特性粘着力の項目があるんですが、
0:19:57	ここに、今回、300 と記載させておりましたが、今までの、前回の資料においては、誤記であったんですが 230 と記載させていただいておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:09	こちらを適正化させていただいております、動きだったものを 300 に修正させていただいております。
0:20:21	続きまして、
0:20:23	資料の 1 の
0:20:26	10、12 ページ目。
0:20:28	もまたご参照ください。
0:20:31	続きまして、105 の適正化といたしまして、
0:20:35	改良地盤の平面位置のうち、改良地盤、
0:20:40	1 から 3 の耐震重要施設及び重大事故等対象施設の耐震評価に期待しない、自主的な改良範囲を削除しましたということで、
0:20:49	資料の 2 の 212 ページ目をご参照ください。
0:21:04	資料の 2 の、212 ページ目には、改良地盤 1 から 3 の範囲の平面図を示しておりますが、
0:21:12	こちらにつきましては前回資料におきまして、黄色ハッチでさせていただき、おります改良地盤 1 から 3 の範囲において、前回比嘉資料では、逆T
0:21:22	逆T何端部付近、荷揚げ場に至る道路を南北に延びる段差改良部を記載しておりましたが、改良街灯の改良範囲はSクラス。
0:21:34	SAクラス最初の構造物でないことから、評価対象ではないということで、今回、資料からは除かせていただきました。
0:21:41	そのため、
0:21:43	各改良地盤の説明でくる平面図からは、該当の箇所の改良地盤 1 から 3 の該当箇所は、除外させていただいております。
0:22:02	続きまして、資料 1 の 13 ページ目をご参照ください。
0:22:11	13 ページの目のナンバー1112 及び 113 につきましては、PS検層の
0:22:19	結果について、記載の適正化を図っております、ナンバー11 につきましては、PS検層の試料数を整数から少数に適正化しましたということで、
0:22:29	資料の 2 の、179 ページ目をちょっとご参照ください。
0:22:42	こちらは前回ご説明させていただいておりますが改良地盤 5 の現位置におけるPS検層の試験数量を示しておりますが、前、前回では 5-1 及び 5-3、5-4 でPS検層も実施しておりますが、
0:22:57	は以前、5-1 で 5 メーター、5-3 で 12、5、12 メーター5-4 で 15 メーター差とさせていただきましたが、小数徴収点以下も加味して記載をするように適正化を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:11	こちらは、現地試験のPS検層を行った箇所につきましては同様に、少数を示すように、
0:23:16	ここに記載の適正化を図っております。
0:23:19	続きまして、資料の1の13ページのナンバー113のコメントか、の記載の適正化といたしまして、
0:23:28	PS検層による試験結果について、前回のヒアリングの御説明については、PS検層から算出したVpVsは算術平均を、
0:23:38	記載しておりましたが、今回、加重平均に適正化しております。
0:23:42	こちらについても、まずは100は資料の2-184ページ目をご参照ください。
0:24:00	資料2の184ページ目には、改良地盤後のPS検層結果を示しておりますが、
0:24:06	以前は下へ、VsとVpについては、30平均で示しておりますが、より、
0:24:12	より公正に加えるために、加重平均で見直して、
0:24:17	VpとVsを算出しております。
0:24:20	この修正に伴いまして、
0:24:24	100、資料の2-187ページ目をご参照ください。
0:24:32	こちら現地試験結果と目標物性値の比較の表として黄色ハッチングさせていただきます。おります4の表4-3-3-4に表を示しておりますが、
0:24:43	こちらで赤枠で囲ってない試験値が、今回加重平均で出したVs938であります。前回の資料では参事平均で出した値が936と。
0:24:55	今回の加重平均よりやや低い結果となっております。これに、この修正に伴いまして、動線弾性係数も若干、
0:25:04	前回、
0:25:06	前回の値が、
0:25:09	174万。
0:25:11	2452棟。
0:25:13	若干少ない値になってたんですが、ちょっと見直したことによって、動線弾性係数をBSS波速度が若干修正になっております。
0:25:21	同様に前回ご説明させていただいております改良地盤8の試験結果についても同様に加重平均で見直しておりますので、同様に、適正化を行っております。
0:25:34	以上が、今回の資料についての適正化内容で、主に説明しておきたい事項になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:42	規制庁の羽鳥です。それでは適正化について確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:25:51	規制庁の江寄ですが、実質的にこの数字が云々ということは申し上げたつもりないんですが、こここれが変わったことによって、
0:26:01	要は設計図書が提出される時期、は変わるかどうか計算した人が出てくるのかどうかのちょっと今、
0:26:08	懸念があるんですがいかがでしょうか。
0:26:12	はい中国電力のユリです。今回の修正に伴いまして計算図書の提出時期が変わるだったりとか、そういったことはございません。以上です。
0:26:24	規制庁、矢崎ですがもともとこの正しい数字を入力していたという。
0:26:29	ことで東証自身が記載が、ということではないんですよもともと加重平均に変えたってことなんだよね。
0:26:36	中国電力伏見ですこの、この理由で下を、計算の時期が変わるというのはないですけど、後程ちょっとまたご説明させていただきますけど全体としては若干変わるところもありますけどこれは理由というものではございません。
0:26:51	だからこれを手正しく入れていくということになろうかと思えます。以上です。
0:26:56	エザキです。理解しました。
0:27:04	規制庁の服部です。
0:27:06	他、適正化について確認する点がある方お願いします。
0:27:11	よろしいでしょうか。
0:27:13	はい。それでは新規に説明するところがあればお願いしますどうぞ。
0:27:21	中国電力の今村です。
0:27:23	今回、前回6月17日のヒアリングでご説明できていなかった改良地盤4と6人のし室内試験結果及び室内試験結果を踏まえた目標、
0:27:33	解析用物性値の設定を、
0:27:35	整理して、了解いたしましたので、それをご説明させていただきます。資料の2-143ページ目をまずご参照ください。
0:27:48	資料の2-143ページに目次を示しておりますが、この中の、
0:27:53	4-2-3。
0:27:56	改良地盤4の解析用物性値の設定、及び、
0:28:00	4-4-3、改良地盤6の解析用物性値の設定について、これからご説明させていただきます。
0:28:08	では続きまして資料2-158ページ目をご参照ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:18	158 ページ目からは、
0:28:20	下既設改良地盤であるし、改良時は 4 の、
0:28:26	御説明をさが書いてありますが、ここでは、前回、
0:28:31	杭の変形抑制及び盗難スイセ南東な南透水性の保持ということで 5、ご説明をさせていただいております。
0:28:39	今回新たに追加した項目が、
0:28:42	160 資料の 2-160 ページ目をご参照ください。
0:28:52	160 ページ目には改良地盤 4 における目標物性値の設定。
0:28:58	を表でまとめております。目標物性値及び設定根拠を示しております。
0:29:05	この中で 1 点訂正がございまして、
0:29:08	今日動特性
0:29:11	下から 2 段目の、今日動特性の粘着力 c におきまして、設定方法、
0:29:16	改良共同給与を用いか式により算定ということで、浸透古閑処理工法技術マニュアルを用いてこの式を算定しておりますが、この式の値で、
0:29:29	2 分の給油
0:29:31	かけるタンジェントというふうになっておりますがこのタンジェント以下の数式については×ではなくて分母にかかっており、おりますため次回、この式については、
0:29:41	修正させていただきます。
0:29:47	また、この改良地盤 4 につきましては、改良強度給湯が記載されてお りませんが、こちらにつきましては改良地盤につきましては、 $Q=1250$ となっております。
0:30:03	続きまして 162 ページ目からは、先ほどご説明いたしました、現地試験 及び試料採取位置等、
0:30:12	162 から 163 でご説明させていただいております。
0:30:17	続いて 164 ページ目には、解析用物性値の設定方法を記載させてお いてありますが、前回説明がなかった、GM算定に用いるシーンはB'は、
0:30:31	164 ページ、下の図から、を参照しても、を求めるように行っており ます。
0:30:39	また、内部摩擦角 ϕ が 0 時またはゼロでないときの式を追加してあり ます。
0:30:47	今回改良地盤 4 の試験結果を、166 ページから 169 ページ目に、
0:30:55	明記しております。
0:30:58	この試験結果を踏まえて、改良地盤 4 の解析用物性値を設定するた めの値、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:05	資料を 170 ページ以降に記載させていただいておりますのでご説明させていただきます。
0:31:11	170 ページ目からBポツ、解析用物性値の設定となっております、
0:31:16	改良地盤 4 の室内試験における試験結果を踏まえ、下位解析用物性値を設定いたします。
0:31:22	まず、密度及び間隙率につきましては、室内試験で確認された密度、
0:31:28	については、改良前の埋め戻しの密度より報、ほぼ同等であることから、目標物性値の密度、2.05 グラムパー立法センチメートルを採用します。
0:31:40	また間隙率につきましても、室内試験における間隙率も、
0:31:44	目標物性値の間隙技術とほぼ同等であることから、目標物性値の間隙率 0.45 を採用いたします。
0:31:53	続きまして動線弾性係数GMにつきましては、PS検層現地で実施したPS検層により、試験値と目標物性値の比較を表の 4-2-3-4 に示しております。
0:32:06	改良地盤 4 の改良目的は、杭の変形抑制及び盗難推薦の確保であり、どうせ弾性係数が小さい方が耐震評価が保守的になると考えられるため、目標物性値を、赤枠で示しております通り、解析を物性値に設定しております。
0:32:23	続きまして 171 ページ、1 ページ目をご参照ください。
0:32:29	強い動的変形特性につきましては、改良地盤 4 については室内試験における繰り返し 3 軸試験結果並びに目標物性値から設定したGG0 のひずみ依存特性及び減衰定数の
0:32:41	ひずみひずみ依存特性を図 4-2-3-6、4-2-3-7 に示しております。
0:32:47	いずれも試験結果目標物性値を上回っていることから、目標物性値から設定した地場G0 ひずみ依存特性及び減衰定数のひずみ依存特性を解析を物性値に設定しております。
0:33:00	続きまして 172 ページ目に、粘着力及び内部摩擦角について、
0:33:06	ご説明いたします。
0:33:09	下の式に算定されるせん断強度を指標とし、室内試験におけるせん断強度が目標物性値が算定されるせん断強度を上回ることを確認いたしました。
0:33:19	その結果、市内試験における試験値と、目標物性値の比較を表の 4-2-3-5 に示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:26	試験値は、粘着力 c 脱脂及び内部摩擦角 ϕ' ともに目標物性値を上回っている、おります。
0:33:34	しかし、室内試験におけるせん断強度が目標物性値から算定されるせん断強度を上回ることを確認したことから、解析用物性値としては、目標物性値に設定した強度特性を設定いたします。
0:33:46	以上を踏まえまして、173 ページに、
0:33:51	暴排機の会、
0:33:53	多重交換運用式背後の改良時における解析用物性値を、
0:33:58	表の 4-2-3-6 に、その設定根拠、表の 4-2-3-7 に示しております。
0:34:05	以上が改良地盤用についてのご説明になります。
0:34:08	続きまして、改良地盤の 6 の説明をさせていただきます。
0:34:15	100、資料の 2-192 ページ目をご参照ください。
0:34:24	192 ページ目以降に改良地盤 6-の資料が、ご説明させていただきますが、こちらについても以前ご説明しております通り、ケーソン及び、
0:34:34	擁壁の指示及び盗難推薦の保持が目的でありまして、今回試験結果
0:34:41	を算定するにあたりまして、194 ページ目をご参照ください。
0:34:48	194 ページ目に、現地試験及び室内試験を実施するにあたりまして、目標分、改良地盤 6 の目標物性値の設定の表を新たにお示しております。
0:35:04	続きまして、196 ページ目をご参照ください。
0:35:10	196 ページから 197 ページについては、改良地盤 6 の試験位置及び試験数量を示しております。
0:35:18	198 ページ目をご参照ください。
0:35:23	198 ページ目には、ついでには、海水浴数値の設定方法を記載させていただいておりますが、これは改良地盤、4 と 5 とほぼ同等となりますが、GFAの算定に用いる嶋部伊田氏は、
0:35:36	図の 4-4-2-1 の通りとさせていただいております。
0:35:42	続いて 199 ページから、203 ページ目には、室内試験結果を明示させていただいております。
0:35:50	この室内試験結果を踏まえまして、204 ページ目以降に解析用物性値の設定を、
0:35:56	を整理させていただいております。204 ページ目をご参照ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	改良地盤 6 の少ない試験における試験結果を踏まえまして、解析用物性値を設定するに当たりまして、まず、密度及び間隙率につきましては、
0:36:14	室内試験で確認された密度が、改良前の砂れき層の密度とほぼ同等であることから、目標物性値の密度は、
0:36:22	目標物性値の密度 2.05 グラムパー立法センチメートルを利用採用します。
0:36:28	また、間隙率Nにつきましても、室内試験における間げき率よりも大きな目標物性値の間隙率 0.45 を採用します。
0:36:38	続きましてB、同姓弾性係数GMにつきましては、現地実施したPS検層による試験値と目標物性値との比較を表の 4-3-3-4 に示しております。
0:36:51	改良地盤 6 の改良目的は、計装及び擁壁の支持円筒軟水性の保持でありまして、動せん断設計数が小さい方が、
0:36:59	慣性力が大きくなり、耐震評価が保守的であると考えられるため、赤枠で示しております通り、目標物設置を、解析を物性値に設定いたします。
0:37:10	100205 ページ目をご参照ください。
0:37:14	205 ページ目には動的変形特性といたしまして、改良地盤 6 について、室内試験、
0:37:21	室内背後ん。
0:37:23	申し上げます、室内配合試験ではなくて、
0:37:28	現地で採取した試験における繰り返し 3 軸試験結果、並びに目標物性値から設定した磁場G0 のひずみ依存特性及び減衰定数の
0:37:40	ひずみ依存特性を図 4、3-6 及び図 43-7 に示しております。
0:37:47	こちらにつきましては、改良地盤 5 と同様に、試験結果目標物性値。
0:37:54	をやや下回っておりますが、ほぼ同等と考えられますが、G γ 関係を確認いたしました。その結果を 206 ページ目に、図 4-3-8 に示しております。
0:38:07	試験結果は、目標物性値を上回っており、前日の前日の動線弾性係数GMAと合わせて、保守的な設定となっていることを確認いたしました。
0:38:17	以上のことから、目標物性値から設定した磁場G0 のひずみ依存特性及び減衰定数のひずみ依存特性を、
0:38:24	解析をメッセージに設定しており、設定いたします。
0:38:29	続きまして 207 ページをご参照ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:34	207 ページ目には、粘着力及び内部摩擦角についてつきまして、下式の評価式位置に新算定されるせん断強度対応しようとし、室内試験におけるせん断強度が目標物性値。
0:38:48	から算定されるせん断強度を上回ることを確認いたしました。
0:38:52	その結果を、
0:38:53	表の 4-4-3-5 に示しております。
0:38:57	試験値は粘着力及び内部摩擦角が、赤枠で示しております目標物性値を上回るため、室内試験におけるせん断強度が目標物性値が算定される。
0:39:08	せん断強度を上回ることを確認しました。そのため、解析、解析を物性値しましては、目標物性値に設定した強度特性を設定いたします。
0:39:18	赤枠で示した目標物性値を採用いたします。
0:39:22	208 ページ目に、試験結果を踏まえ、
0:39:26	ふた解析用物性値の
0:39:28	改良地盤 6 についての、
0:39:31	防波壁の管理地盤 6 における解析物性値を表の 4-3-3-6 に、その設定コンポ根拠を表の 4-4-3-7 に示しております。
0:39:42	以上が、改良地盤 6 についての、
0:39:44	室内試験結果を踏まえた説明になります。
0:39:48	本日の説明は以上になります。
0:39:52	規制庁の服部です。
0:39:54	それでは資料全体に対して確認する点がある方お願いします。
0:40:11	規制庁のハトリですそれでは私から 2 点ほど確認させてください。
0:40:17	102 ページをお願いします。
0:40:26	と 102 ページにわあ、
0:40:28	土木構造物の地震応答解析に用いるルー物性値は 4-1 章、
0:40:38	設定しますというふうに記載されています。
0:40:41	一方で入力地震動の算定用モデルの場合は 100 ページにある、
0:40:50	物性値を、岩盤ですけど、岩盤ですけどこれを使うということになっています。
0:40:55	4-1 章のところを見ると、岩盤物性ですけども、
0:41:03	例えば 23 ページ。
0:41:06	この岩盤物性値については、
0:41:09	各DoS各速度層ごと 2、
0:41:12	岩質、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:17	に細分化してさらに岩級に細分化して、
0:41:22	いろいろな須藤せん断弾性係数とかが設定されているということで、
0:41:27	地震応答解析では、このように細分化された岩盤物性値を用いるという理解でよろしいのでしょうかどうぞ。
0:41:55	中国電力李です。少々お待ちください。
0:42:09	すいません中国電力ユリです。今服部さんご質問ご指摘いただいた趣旨といたしましては、地震応答解析のキーRELAPだったりFLIPに用いる物性というものが、
0:42:21	岩級岩相まで分けたような物を用いるのかという、そういうご質問の趣旨でございましょうか。規制庁の服部ですはいその通りでここの記載だけ見ると、
0:42:33	4.1章の物性値を使うというふうな記載だと、4.1章の物性値を見ると、岩盤だけですけどね、23ページしかちょっと見当たたらあまに12号機エリアについては、
0:42:46	23ページしか見当たらなかったの、
0:42:49	FLIPとか、Tタップもこのように細分化したモデル化にして、それぞれこれを適用するのかな。
0:42:58	というふうに考えたんです。これを読んで思ったんですけど。
0:43:02	いかがでしょうかという質疑、確認です。
0:43:06	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:43:10	基本、岩盤部水につきましては、事業と解析について速度層、
0:43:17	今
0:43:18	第1速度層第2速度層という、示しておりますけれども、
0:43:22	こちらについて、
0:43:23	江藤岩級岩相を見てもう層区分をしているものでございます。地震応答解析はそれを、12号エリアと、あと3号機エリアそれぞれに、
0:43:34	概ね妥当だということも設置許可で説明しているんですけども、それぞれ12号エリア3号機エリアで、地下構造モデルを使って地震応答解析を行っております。
0:43:45	実際の、
0:43:46	江藤岩盤の、
0:43:48	議事録と、そういった時にはその岩盤、これも設置許可で、岩質を見て、岩級の物性値というものを保守的に設定しているものがございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:59	ですのでこの岩級で調査を行うというようなことを行っております。以上でございます。
0:44:08	規制庁の服部です。そうすると、102 ページに書いてある。
0:44:13	土木構造物の地震応答解析に用いる地盤モデルの
0:44:18	地盤物性値であ、4. 一章及び 4.2 章を基本として設定するって書いてあるんだけど、
0:44:27	12 号機エリアについては、この 23 ページのこの細かく細分化されたものを使うというわけではない。
0:44:35	という理解でよろしいでしょうかどうぞ。
0:44:41	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっとページ番号を探しますので少々お待ちくださいませ。
0:46:00	あ、すいません中国電力のヨシツグです。ちょっとお待たせいたしました。
0:46:04	衛藤。
0:46:06	②の資料の 32 ページ。
0:46:11	をご覧ください。
0:46:15	ちょっとここ 3 号機エリアの
0:46:18	ところなんですけれども、表の 4-2-5 というところで、
0:46:22	抗力解析では、この速度層ごとに分けたP波椅子は、
0:46:29	堆積重量動向 3 引い等々これを使って解析を行っております。
0:46:35	同じく 12 号駅エリアについても、ちょっとこの資料の中で、同様にですね速度層ごとに区分した、
0:46:45	物性値を使って解析を行っているというところでございます。以上でございます。
0:46:51	規制庁のハツリですはい 32 ページに 3 号機エリアの有効量解析に用いる物性値があるというのはわかっていて、ただここには岩盤 1 投与さんの物性値が書いてないということと、
0:47:04	12 号機エリアの物性値ワー
0:47:07	4-1 章にはこういう
0:47:10	岩相速度層ごとに設定した物性値というのは見当たらないということ等、
0:47:16	さらにこの 4-2-5 は有効力解析って書いてあるのD、前鵜飼関井にはこれを用いないのかなあと。
0:47:24	ということで、102 ページにある文章を読んだ限りでは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	どれを使うかがよくわからないと、いうことおそらくですね、100 ページにある入力地震動の設定に用いる
0:47:38	その物性値を使うんだらうなということは想像はできるんですけども、
0:47:42	ここの記載とそれは層位からは読めないの
0:47:47	そこら辺でどういう物性値を使うのかというのを事実確認したかったんですけども。
0:47:53	いかがでしょうかどうぞ。
0:47:55	はい。中国電力のヨシツグでございます。おっしゃられる。
0:47:59	ところなあ。理解いたしました。実際にこの資料 202 の資料の 100 ページに出ている。
0:48:08	入力地震動の策定に用いる地下構造モデルというもので、
0:48:13	12 号機エリアと 3 号機エリアのものがございます。
0:48:18	表の 6-1-1 と 6-1-2 でございますが、この辺りを使っておりますのでちょっとあの、記載のほうを、適正化のほうをさせていただけたらと思っております。以上です。
0:48:29	規制庁のハットリそうですね 102 ページの記載を適正化するのか、それとも 4. 一章 2 ちょっと、19 はするんだけれども、地震応答解析。
0:48:40	に用いる地盤モデルの地盤物性値を記載するのかそこら辺の記載を任せますけれども、少なくとも地震応答解析に用いる地盤モデルの地盤物性値をどれを使っているのか。
0:48:52	というのが明確になるようにしていただきたいと思いますがよろしいでしょうかどうぞ。
0:48:58	はい。中国電力のヨシツグでございます了解いたしました。こちらのわかるようにですねこの資料の中で完結できるような、資料構成もしくは飛ばすのかっていうところをちょっと考えさせていただきたいと思ます。
0:49:11	以上です。規制庁のハットリですはいわかりました。あと 1 点。
0:49:15	確認します 157 ページお願いします。
0:49:28	ここは少し中国電力と相談したいと思ますけれども、
0:49:32	ここの基本方針のところ、
0:49:35	開始既設改良地盤、4 から 6 及び 8 の下解析用物性値については、施工後の現地試験及び室内試験の試験結果を踏まえて設定すると書いてあります。
0:49:52	この 8 なんですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:54	これについてわあ、後の方の 8 のところを詳しく読むと、基本は地盤の物性値を使うんですと、これは自主設備なので地盤の没水を使うんですと。
0:50:05	影響評価 2、
0:50:07	行うに当たって実際に現地で撮った物性、試験値から物性値を設定して影響評価をするんですというふうには、
0:50:18	そこまで読めば読めたんですけど、
0:50:21	ここで見る限りでは 8 もう、
0:50:23	自主設備なんだけれども、地盤改良の物性値を使うというふうに見えるのD。
0:50:30	ちょっと誤解を招くかなというふうに考えていて、これは中国電力と相談なんですけど、この 8 については、そういうことなんだよというのを、
0:50:41	早めに宣言した方がわかりやすいんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうかどうぞ。
0:50:48	はい。中国電力ユリです。今服部さんがおっしゃった通りの記載がわかりやすいと思いますので、前段の 157 ページの基本方針のところに、
0:50:59	8 の取り扱いですね、基本をめで衛藤物性値を設定して、検討するんですけども、自主的な設備ということで、
0:51:09	8 の物性も踏まえて影響検討しますといったことをですね、後段に書いてある記載をこちらに、もう
0:51:16	端的に記載をしたいと思います。以上です。
0:51:19	規制庁のハツリですはい。書き方はお任せしますが※で、注記で書いてもいいですし、あまりちょっとそれが目立つようだったらそういう書き方でもいいですしそれはおまかせしますので、
0:51:31	それを明確にしていきたい記載のほうを明確にしていきたいと思います。
0:51:35	私からは以上です。他にあればお願いしますどうぞ。
0:51:53	規制庁のタニグチです。
0:51:58	今服部からあった点等に近い話ですけども、
0:52:04	まず 29 ページ目のところ、
0:52:09	ここは設置変更許可申請書に記載されてない解析用物性値はどうするかってことを書いてるんですけども、
0:52:18	その中の説明、表の 4-2-1 のところに、
0:52:23	説明箇所と書いてあって参考資料の名前が書いてあります。
0:52:29	が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:30	ここのうちの埋戻し同深尾値戻しどの年制度、それから岩盤のところについての参考資料は、
0:52:39	今回の説明資料の中に記載されてないんですけども、
0:52:44	ここは参考資料を説明していただかないと、
0:52:49	ここの次のページ以降に書いてある。
0:52:52	有効力解析で使ったす。数字の確認ができないんですけども、
0:52:59	この辺は、今回説明していただけてないのはどうしてですか。
0:53:06	はい。中国電力のユリです。こちらですね今回お示しできてないのがですね、前回の6月17日のヒアリングの際にはですね、こちらを参考資料の9以降ですね。
0:53:18	すべてを示して、その時にちょっとコメントというか指摘がつかなかったところでちょっと今回、提出を省略させていただいた次第でございます。
0:53:29	そうですか。そうすると、一応全部公開の出揃ったって位置付けですか。
0:53:37	はい中部電力のユリですその認識でございます。
0:53:44	資料としてちょっと、せっかく食う今回作っていただいているのに、読めない部分もあるので、ここは今後出していただくときは一緒に出していただきたいなと思います。
0:53:58	はい、中国電力鹿島です。承知いたしました前回のヒアリングでですね、ステージの関係もですね、コメントついております。いただいております今回まだ変えてないところがございますので、
0:54:11	また今後、その資料、ステーション関係も含めてですね、セットで一通りのものをご提出させていただきたいと思います。以上です。よろしく願います。それで今、先ほど服部からも話がありましたけども、
0:54:24	全応力解析、それから有効力解析、両方とも解析するにあたっての、
0:54:31	今の替え例えば岩盤のところの取り扱いの話もさっきありましたけど、
0:54:37	できれば0全応力解析ではこういうふうな諸元でありますとか有効力解析では、こういうものを、こういう、
0:54:48	剛性こういう評価でしますっていうような形で、はっきりとわかりやすいようにしていただかないと、この後に書いてあるのも有効力解析と全応力解析が、全部バラバラに、
0:55:03	堀田新名って書いてあるような状況になって、非常にわかりにくいので、その辺をちょっと統一していただいて、もう少しわかりやすくして、特に有効力解析のところについては、
0:55:15	まとめてわかりやすいような形で記載していただけないでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:22	はい中国電力のユリです。今おっしゃった全応力解析の物性と、有効応力解析の物性と章立てのと構成をちょっと検討して、わかりやすいようにしたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
0:55:38	もう1点だけ。
0:55:42	有効、
0:55:45	弾性仙田同檀清家の選択係数を作るにあたって使ってる有効上載圧のところ、先ほども幾つか、
0:55:56	絵だけ記載してるんですけども、これは④から⑥まで、同じようにだけ書いてあるんですが、
0:56:04	この上載上載圧を出した根拠、
0:56:08	高さはこれD17 ここですよっていうのが書いてあるんですけど、実際どういうふうに出したかっていう数字だけ書いてあるので、その数字を出した。
0:56:18	根拠を記載していただけないでしょうか。
0:56:26	はい。中国電力のユリです。
0:56:29	G名算定に用いる σV の算出根拠ですね。こちらも数値だけの記載になっておりますので、
0:56:38	算出方法記載を充実化させたいと思います。以上です。はい。お願いします。④から⑥まで、同じように記載がさ、ありますので、よろしくお願いします。以上です。
0:56:51	はい中部電力入りです承知いたしました。
0:56:55	規制庁の三浦です。ちょっと今日ご説明のあった、改良地盤のところ、
0:57:03	まず、100、細井新居の資料ですか、その168ページ。
0:57:11	これ記載です。
0:57:13	下の図で、これ赤字、消えてますよねこれ。
0:57:17	3軸圧縮強さの0.5倍を超えないとか何とかってこともあるんじゃないですか。修正しておいてください。
0:57:24	はい。中国電力ユリです。申し訳ございませんでした修正いたします。以上です。それとですね、204ページなんですけど、
0:57:35	これちょっと気になったのが、結構、何とか、
0:57:40	目標物性値として、試験ちいの中のせん断弾性係数がかなり大きく違ってますよね。
0:57:47	それドアツーが主体のやつに関しては、せん断弾性係数小さめに取った方が、変形量が大きくなるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:57	いいのかなと思うんですが、204 ページのところ、これあれですよ。
0:58:04	防波堤の下の地盤改良がないかだと思うんですけど、
0:58:10	これがB括弧Bのところ
0:58:15	導電性係数が小さい方が監査役が大きくなるっていう表現をしてるんですよ。
0:58:21	これは本当にそうですか。
0:58:24	ちょっと気になった中で、これ結構、目標値とね、試験値千田先生係数が大きく違ってるところってのはそれなりにやっぱり影響してくると思うんですよ、解析上。
0:58:35	度アースが主体はわかるんだけど、これは、
0:58:40	本当に小さい方が安全が保守的っていえるんですか。
0:58:45	ちょっとご説明してください。
0:58:50	はい中国電力ユリです。こちら 204 ページの方に、動せん断弾性係数が小さいほうが慣性力が大きくなり記載しておりますが、
0:58:58	こちらの趣旨がですね、
0:59:01	ケーソンの直下の改良地盤でございますことから、こちらが動せん断弾性係数小さくなるとやわらかくなって揺れやすくなります。
0:59:10	ということで、その上に乗ってる物の慣性力も、
0:59:14	大きくなるんじゃないかということで、
0:59:19	それはね多分ねえ、はっきり言えないと思うなあ。
0:59:23	うん。
0:59:25	逆に応答が小さくなっちゃう場合もありますよこれ。うん。ケースバイケースなんで、何とも言えないんですけど。
0:59:32	はい。中国電力加島です。申し訳ございませんでした先ほどユリが申しましたように今、我々の説明が定性的なものになっておりますので、こちらにつきましては、
0:59:43	剛性の差が実際にどういう影響があるかっていうところですね、解析的に、影響を確認した上でですね、またお示しさせていただきたいと思えます。以上です。すいませんお願いします。
0:59:56	先ほど水谷ドアツードアとストレートにね。
0:59:59	やらないほうが当然運用なというふうに思うんですが、完成量の話になると、
1:00:04	小さいほうがいいとは別に限らないなと思って上がかえって売れちゃったりもするので、
1:00:10	ちょっとその辺ところを定量的に示していただくと助かります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:28	ケースはエザキですねケースバイケースですけど、これが計算してみないとわからないんですけど、基本的には高振動数が卓越してる方が加速度が大きい場合も、
1:00:39	基準地震動にはたくさんそういう成分がたくさん入っているので、各
1:00:44	時刻ごとにですねだから、それをやってみないとわからない。
1:00:47	一方で動圧の場合は、地盤の変位なんで、変位っていうと基本的にはね、2回積分しちゃう形になるから基本的には、
1:00:58	ゆっくりしたモーションの方が
1:01:01	大きくなる、いわゆるルー。
1:01:04	剛性が高い方が、地盤の変位が大きくなるので、動圧大きくなるけど、実際に揺れるものに関しては、
1:01:11	構造物の
1:01:14	固有周期やその周辺の地盤の影響もあるかもしれないけど、実態的には計算してみないとわからない世界だと思います。建築以上に中で中に埋もれていて、
1:01:26	地上に突出してもないからよくわからないのでそれは何か計算してみないとわからないで、
1:01:32	なかなかそう定性的には、
1:01:35	言いがたいんだと思うんで、それはちょっと何かさつき検討するって言ってましたけど、
1:01:39	ぜひここはちょっと、
1:01:41	裏付けをとっていただきたいと思います。定量的な裏付けをお願いします。はい。中国電力鹿島です。承知いたしました。
1:01:50	はい。本社中国電力ヨシツグでございます。今江崎さんのおっしゃられた通り、
1:01:58	この護岸ケーソンのこういう周期とあと、周りの埋め戻し動の周期も関係してきて、一概に言えないというのは理解しましたので、
1:02:09	今回のこの部分につきましては、影響検討でちょっと誤廃棄の資料の中でですね、どういった影響があるかといったところを少し検討させていただきたいなと思っております。以上です。
1:03:05	中国電力シミズです今江崎さんおっしゃられたようにまず事前にですねその辺りのこういう周期の関係を見てですね、今後ご説明させていただきたいと思います。以上です。
1:03:21	規制庁チギラです。すいません。私からちょっと二つほどちょっと確認させていただきます。194ページのところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:31	改良地盤⑥のGMの、
1:03:37	ところで、Vsを 500 にしているのか。
1:03:41	ちょっと、この設定の考え方っていうのが級友が出て、
1:03:46	来てたりはするんですけど、ちょっと説明聞き漏らしたかもしれないんですけど、
1:03:51	何で 500 なのかなっていうのか、
1:03:55	ちょっとわからなくて、それで後ろの方見ると 208 ページ。
1:04:00	のところで設定根拠を見ると、改良前の砂れき層のせん断を、Vsがですね公約なのでそれを目標にしている。
1:04:10	て言っていてこちら、
1:04:12	これが根拠なのかなと思ったんですけどちょっと今のこの 194 のところだと、なかなかそれがちょっとわかりづらいなと思ったんですけど、それ。
1:04:22	どんな関係になってるかってちょっと説明していただけますか。
1:04:28	はい、中国電力のユリです。
1:04:31	194 ページのですね、
1:04:33	GMの設定方法のところに式を四つほど記載してございますけども、
1:04:39	改良強度が級友 2500kNパー平米ということで、
1:04:44	こちらの給与を用いまして、こちらの四つの式で、最終的にはAとGを設定しまして、
1:04:51	こちらから最終的にGというかGMですね、こちらを算出しまして、
1:04:58	そのあとGMを、その前に改良地盤 4 のところで、具体的な設定方法を記載したと思うんですけども、その設定方法で算定をさせていただきます。
1:05:09	この設定したGからですね、密度のろうが上記記載しておりますけど 2.05 手当になっておりますので、それからVsを逆算すると、500 という値が出てくるということで、
1:05:22	こちらを一つの指標にしまして、試験値との比較を行ってございます。以上です。
1:05:28	はい、わかりました。ちょっと改良地盤④だと、変形抑制でVs700 にSIMMERすとか、5 だと、
1:05:40	改良前の
1:05:43	埋め戻しの相当の武術。
1:05:45	を目標にしますっていうのはちょっとわかりやすかった。ここだけちょっとわかりにくいなと思って、後ろ見ていったらまず礫層のVsっていうのが出てきたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:57	その関係とどうなのかなってというのがちょっとわかりにくいなと思ったんですけど。でも、どちらにしても結果的には、500っていう数字で整合がとれてるっていうことで理解しとけば大丈夫ですかね。
1:06:10	はいおっしゃる通りの理解でござい理解の通りでございまして、最終的には試験値も踏まえましてですね、この目標物性値が妥当かどうかという確認をいたしまして、
1:06:23	物性値設定している次第でございます。以上です。
1:06:27	はい、わかりました。
1:06:29	で、もう1点がこれはちょっと気づきみたいな話ですいません0。
1:06:35	20 ページ。
1:06:38	これは庄野さんの新野一井なんですけど、ここの取水槽のところと改良地盤改良地盤に今ちょっと丸がついてないんですけど、ここは丸がつくんですよねっていう確認です。
1:06:55	はい中国電力李です。大変申し訳ございません。おっしゃる通りでございます取水槽のところの改良地盤が今横ばいになってございますけども、正しくは白丸になると思います。
1:07:07	頭数対し、黒丸ですかね。はい。
1:07:11	ちょっと黒丸から白丸かも含めてちょっと記載を適正化したいと思えます以上です。
1:07:22	はい。わかりましたじゃ、ちょっと次回というその時、修正していただければと思います。私から以上です。
1:07:32	規制庁の服部です。
1:07:34	他、全体を通して確認する点があればお願いします。
1:07:39	よろしいでしょうか。
1:07:41	はい。それでは中国電力側から何か追加で確認しておきたい点があればお願いしますどうぞ。
1:07:47	はい。中国電力鹿島です。こちらからは特にございません。以上です。
1:07:52	規制庁の服部です。はい、では本社側から何か確認しておきたい点があればお願いしますどうぞ。
1:08:01	中国電力内藤です。本社側からも特にございません。以上です。
1:08:06	規制庁のハトリですはいわかりました。それでは、一通り確認が終わった、終わりましたので、本日のヒアリングは終了したいと思います。どうもありがとうございました。ありがとうございました。
1:08:17	ありがとうございました。
1:08:18	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。